

Monthly Report

2018年7月号

特集 高速道路上の落下物

昨年10月に岡山県の中国自動車道上で、走行中の車から落下したタイヤが原因となり、母娘2人が死亡する重大事故が発生したことは記憶に新しいところです。このように、信号や交差点のない専用道路を高速走行するという特殊な環境において、突然発生する落下物は重大な危険要因です。そこで、高速道路の落下物と安全運転について考えてみましょう。

1. およそ1分半に1件の危険が発生！

国土交通省資料から、主要高速会社の高速道路上での落下物処理件数を集計してみると、なんと年間31万件にもなります。

これは、1日あたりにすると約850件にのぼり、およそ1分半の間に1件の割合で発生していることとなります。では、どんなものが落下しているのでしょうか？

一番多いのはビニールシートや布類で、タイヤなどの自動車部品等、建材等と続きます。この他にも、小船、仮設トイレ、冷蔵庫などの大型落下物や家畜等様々なものが回収されています。

落下物の他にも、高速道路上では『ロードキル』と呼ばれる動物との衝突も多く、平成28年には5万件あまりも発生しています。

落下物や動物との衝突は、重大事故に直結する危険要因です。

図1 高速道路上の落下物^{*1}
年間処理件数

高速会社名	処理件数
NEXCO東日本	91,100 件
NEXCO中日本	58,600 件
NEXCO西日本	110,500 件
本・四高速	5,000 件
首都高速	26,600 件
阪神高速	22,800 件
合 計	314,600 件

*1 : 国土交通省「高速道路会社の落下物処理件数(平成28年度)」
www.mlit.go.jp/road/sisaku/ijikanri/pdf/h28rakkabutu_nexco.pdf
(2018/5/28閲覧)



2. 落下物を想定する

落下物事故に遭わないためには、情報や前兆を見落とさないように周囲に注意を払い、落下物に備える姿勢が大切です。

(1) 道路情報板等に注意を払いましょう。

落下物の表示があったときは、前方の道路状況や先行車の動きなどに注意しながら走行してください。

(2) 速度を控えましょう。

落下物を発見してから事故を回避できる時間を確保するため、速度を控えることが大切です。

(3) 車間距離を十分取りましょう。

高速走行中の急ハンドルや急ブレーキも大事故の原因となります。落ち着いて回避できるような速度と車間を維持してください。



3. 落下物を発生させない

落下物を発生させると処罰^{*2}の対象になります。高速道路では、車外の荷物はキャリアなどを使用し、しっかり固定して、休憩中にも固定状況をチェックしましょう。

また、万が一自分の車から物が落下してしまったり、落下物を見つけたら直ぐに通報しましょう。通報は「道路緊急ダイヤル（#9910）」が便利で、携帯電話やスマートフォンにも対応しています。

通報時は、落下物のあった車線や地点（キロポスト：路肩や中央分離帯にある数字が書かれた小さな標識）を覚えておくと、スムーズに伝えることができます。



*2: 道交法第75条の10
高速自動車国道等運転者遵守事項違反

*3: 国土交通省ホームページより引用
<http://www.mlit.go.jp/road/dia/> (2018.6.5閲覧)



SOMPO ホールディングス
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

時間に余裕をもって、
「お・も・い・や・り」のある運転を！
みなさまの無事故を願っております。

エヌエスサービス（株）一同